

J-PEAKSシンポジウム2025



地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）
世界トップレベルの精神・神経病態研究拠点を形成し、
唯一無二のアカデミア創薬エコシステムを確立する



J-PEAKS | Fujita

Mind-BRIDGe

Fujita Mind-Brain Research & Innovation center for Drug Generation

藤田医科大学 学長 岩田 仲生

藤田医科大学



J-PEAKS | Fujita
Mind-BRIDGe
Fujita Mind-Brain Research & Innovation center for Drug Generation

Fujita Health University

岐阜薬科大学



J-PEAKS | Fujita
Mind-BRIDGe
Fujita Mind-Brain Research & Innovation center for Drug Generation

Gifu Pharmaceutical University

浜松医科大学



J-PEAKS | Fujita
Mind-BRIDGe
Fujita Mind-Brain Research & Innovation center for Drug Generation

Hamamatsu University School of Medicine

生理学研究所



J-PEAKS | Fujita
Mind-BRIDGe
Fujita Mind-Brain Research & Innovation center for Drug Generation

National Institute for Physiological Sciences

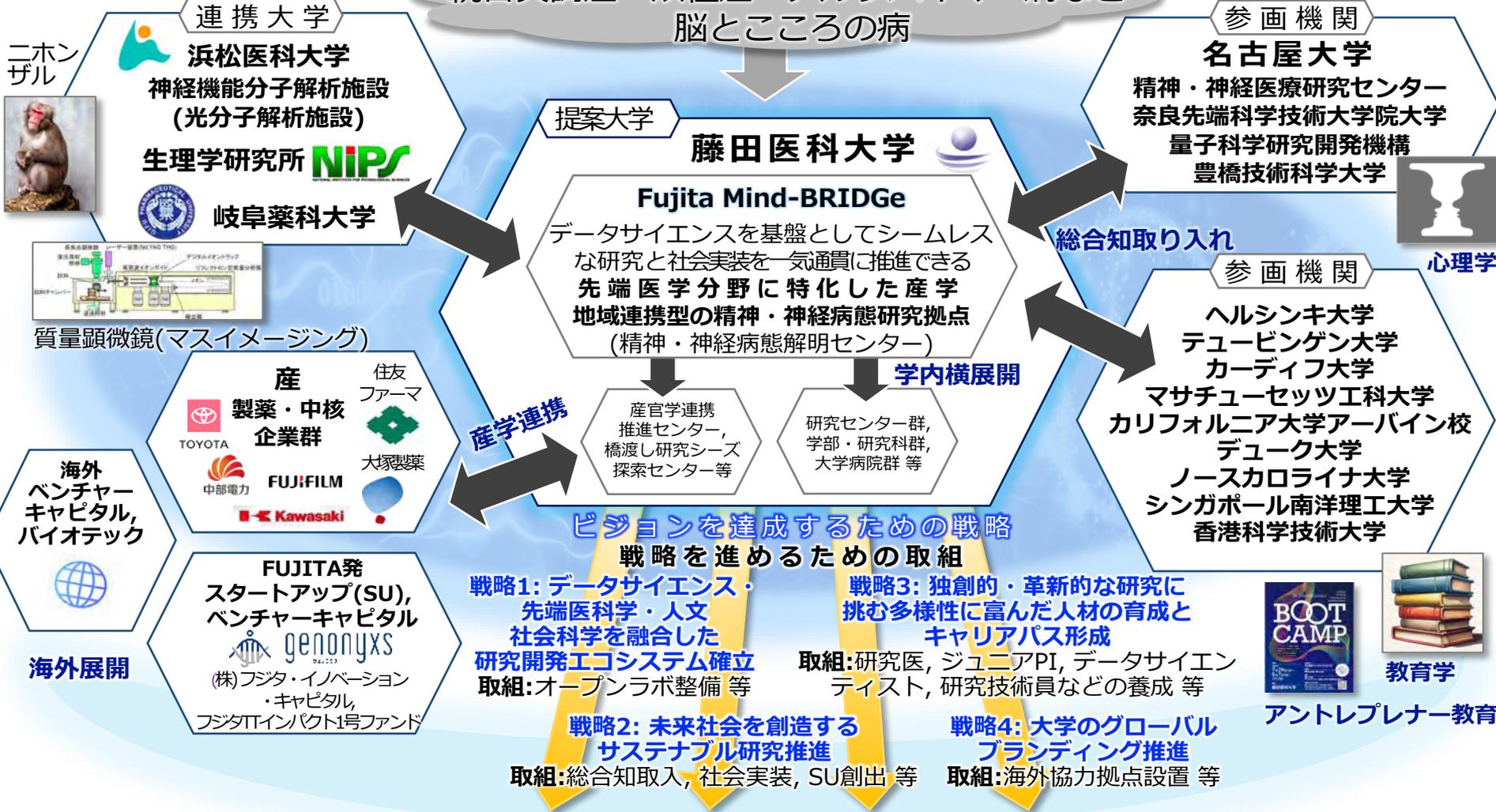


藤田医科大学創設者
藤田 啓介 博士
(1925-1995)



取り組みの体制と概要

地球規模の課題
 統合失調症・双極症・アルツハイマー病など
 脳とこころの病



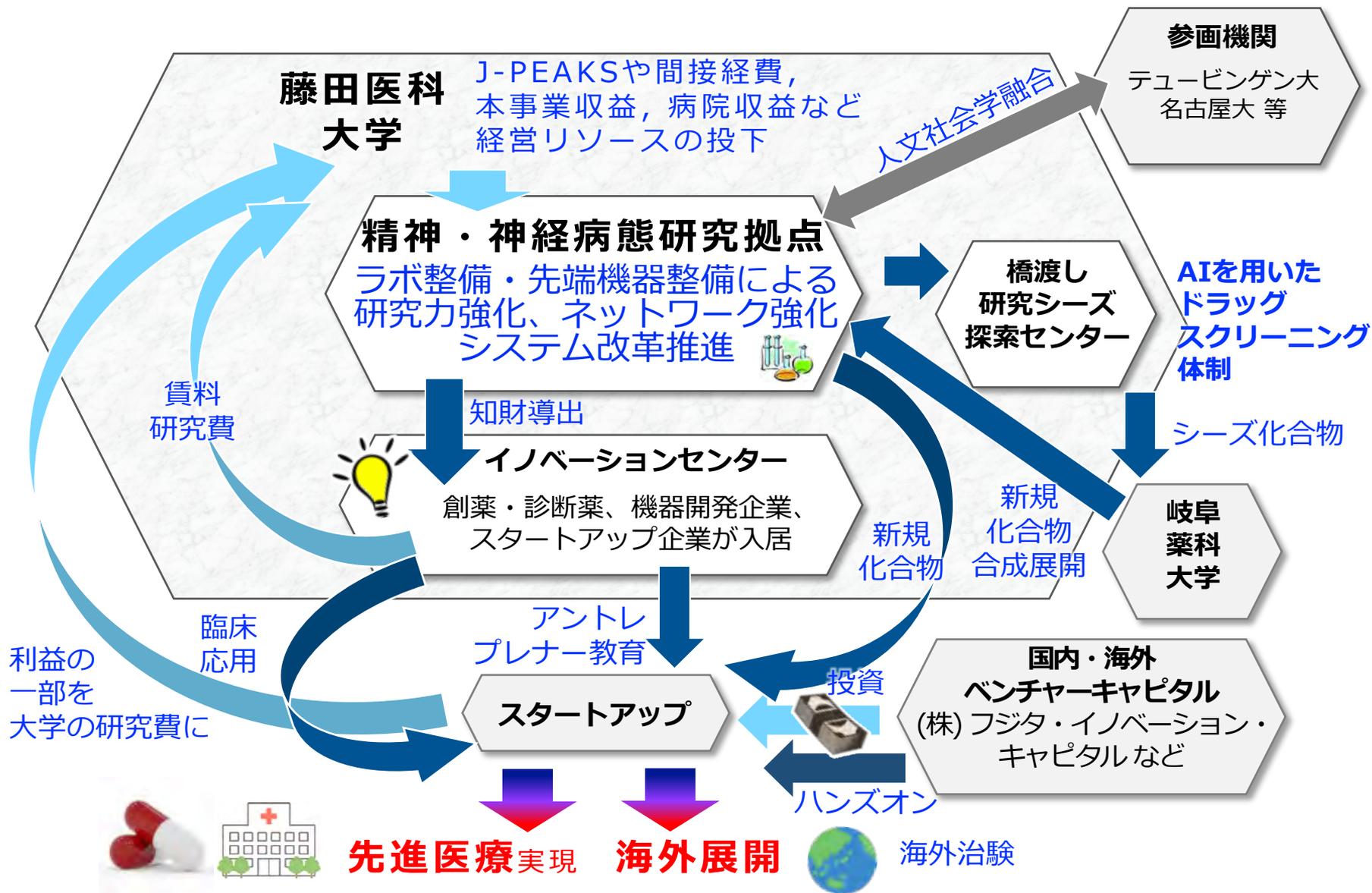
10年後の大学ビジョン **世界に類を見ないアカデミア創薬エコシステムを確立**





データサイエンス・先端医科学・ 人文社会科学を融合した研究開発エコシステム

ビジョンを
達成する
ための戦略1



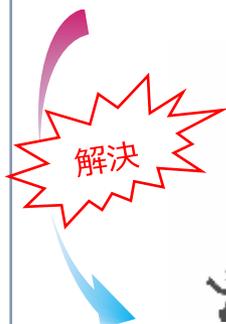


未来社会を創造するサステナブル研究

精神科、脳神経内科、小児科、心理学、教育学、最先端の脳科学研究を統合し生涯にわたる脳の健康、成長、社会適応、レジリエンスを追求する学問分野の提唱

現代社会の根本問題：

生涯にわたって出現し、大きな社会的損失を生む、脳とところを取り巻く未解決な課題



医薬系、情報系、工学系、社会人文系、企業の研究者が従来の枠を大きく超えて参画し、創薬、疾病予防、生活・教育様式の変革などを通じて、生涯にわたって脳を護り未来社会の創造へつなげる

神経変性疾患の患者数 ↑ ↑ ↑

精神疾患の患者数 ↑ ↑ ↑

心理的負担に伴う多大な社会的喪失、不適切な環境要因、生活習慣、加齢による脳の適応力低下



独創的・革新的な研究に挑む多様性に富んだ 人材の育成とキャリアパス形成

ビジョンを
達成する
ための戦略3

若手教授とジュニアPI

- ・積極的に若手教授を登用
- ・ジュニアPIを採用



研究医養成プログラム

研究医を目指す
大学院生と若手
医師を
指導・育成



(高度医療人材養成拠点形成事業と連動)

大学院生・留学生 支援プログラム

大学院生・
留学生の生活支援、
アントレプナー
・プレゼンスキル
教育



(次世代研究者挑戦的研究プログラムと連動)

データサイエンティスト 育成プログラム

医学研究科博士課程に
データサイエンスコースを新設

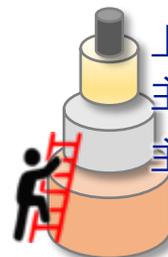
データ駆動型研究を実践

- ・ バイオインフォマティクス
- ・ AI解析
- ・ 数理モデル
- ・ データベース作成など



研究技術員養成 プログラム

優秀な研究技術員を
確保するため職階を制定して
正規雇用化、待遇改善



上席研究技術員
主幹研究技術員
主任研究技術員
研究技術員

正規雇用





大学の グローバルブランディング

ビジョンを
達成する
ための戦略4

サテライトラボ・海外事務所・協力拠点の設置

ヘルシンキ大
サテライトラボ

難波 隆志 教授
クロス
アポイントメント



上海交通大
協力拠点



ダッカ大
協力拠点



南洋理工大
協力拠点



UCI

カリフォルニア大学
アーバイン校
サテライトラボ

Duke
UNIVERSITY

デューク大
サテライトラボ



藤田医科大学
ホノルル事務所

チャールズ ヨコヤマ 教授

若手研究者の海外派遣による頭脳循環の強化

留学生と外国人研究者の受け入れと支援強化

アドバイザリー・ボードの設置

国際シンポジウムと海外講師によるレクチャーの開催



国際シンポ開催

Fujita Neuroscience Seminar : ノーベル賞受賞者らがオンライン公演

2024 SPEAKERS



Thomas C. Südhof, M.D.
Stanford University
October 22



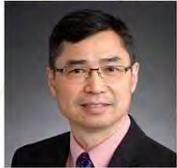
Na Ji, Ph.D.
University of California, Berkeley
November 21



Edvard Moser, Ph.D.
Norwegian University of
Science and Technology
December 20



2025 SPEAKERS



Junmin Peng, Ph.D.
St. Jude Children's Research Hospital
January 16



Mark J. Schnitzer, Ph.D.
Stanford University
February 26



Li Ye, Ph.D.
Scripps Research Institute/UCSD
March 26



Bernardo Sabatini, M.D., Ph.D.
Harvard University
April 23



Bryan Roth, M.D., Ph.D.
University of North Carolina
May 21



György Buzsáki, M.D., Ph.D.
New York University
June 18



Brian Kobilka, M.D.
Stanford University
July 8



Gül Dölen, M.D., Ph.D.
University of California, Berkeley
August 21



企画・運営：
チャールズ・ヨコヤマ
教授(URA)



Advertorial

Aerial view of campus buildings and university hospital with the city of Nagoya in the distance.

Leading Japan in translational medical research

10年後の大学ビジョン：
世界トップレベルの精神・神経病態研究拠点を形成し、
唯一無二のアカデミア創薬エコシステムを確立する